



第36号
 平成15年11月
 発行 小野川と佐原の町並み保存会
 代表世話人 加瀬順一郎
 お問い合わせ先 三菱館 0478(54)7766

岩瀬市長 三菱館に来館

佐原のよさを市民の手で発信する活動状況を視察

会員皆様のご協力で、九月一日の大掃除も済み、きれいな



岩瀬市長を囲んで

になった館内を、佐原のよさを再発見する大正・昭和初期の繁栄した当時の写真、鳥瞰図、そして現在私達の町並みを考える会活動のコーナーもまとめた展示に模様替えしました。

観光客はもとより、地元の人々が、自分の家がこのように載っている、ここに覚えがある、と懐かしむ姿が見られます。

岩瀬市長も、市民によって活動している三菱館に関心を

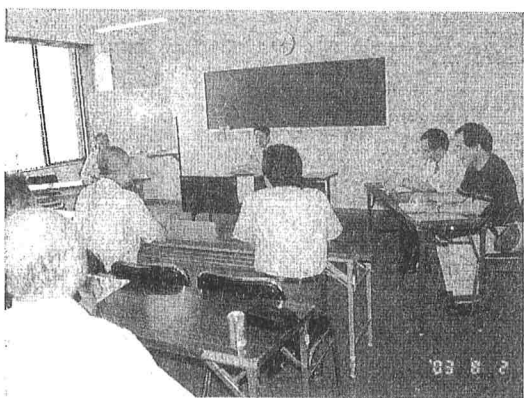
佐原町並み保存会の再起動

「佐原町並み保存会」は、各町内のご賛同を得て、「佐原の町並み保存を図り、より良い生活環境づくりを通して、地域の発展に寄与する」を目的として、平成六年に発足いたしました。その後、本会は休眠状態となり今日まで参りませんが、町並み保存は順調に推移し、平成八年に国の「重要伝統的建造物群保存地区」に選定されて以来、各方

面から注目を集めるようになってきました。

この様な状況の中で、地元として、また所有者として、今後の町づくりを携わるため保存会を再起動させようとの声があがり、去る八月二日に総会を行ない、新役員や事業の承認をして頂きました。

今後は、活性化に向けての改良工事や観光面での急激な変化が予想される為、この保



存会が中心的存在になって明るく快適で、安心して暮らせる町づくりを目指して活動してゆきたいと思えます。

の発信活動をし、三菱館が拠点となつていくことに深く関心を示されました。

特にこれからの三菱館活動において必要な飲み水、手洗いの水の確保、その他の設備等についての提案があり、又、町の活性化について等話し合われました。

町並み懇談会開催

平成十五年七月二十四日
 中央公民館3F視聴覚室

講師
 文化庁文化財部建造物課主任文化財調査官
 江面嗣人氏



昨年七月に江面先生を講師として行なわれた「まちづくり講演会」が、大勢の皆様方の出席を頂き好評だったので、今年は趣向を変え、同先生をお招きして、来場者との意見交換を主とした、「町並み懇談会」を開催いたしました。

江面先生の基調講演要旨

○歴史的、自然的な資産の保存をするために
 ・規制をして守る



9月1日の三菱館清掃

・町並み、道路、景観等、すべてが調和のとれた町づくり

○保存を主に観光を考える
 ・文化的・精神的性の高い意識をもった人づくり
 ・住んでいる身近な地域をよく知ってもらう為に、小・中学生にも町並みの案内等に参加して頂く。

それが後の人づくりにもつながる。

・女性も社会参加意識が強くなってきたので、どんな参加して頂き、その能力を引き出す。

○人を求心する町づくり
 ・個人ではなく、組織的な町づくりにより求人力が生まれる。

・町並み、道路、景観等、すべてが調和のとれた町づくり

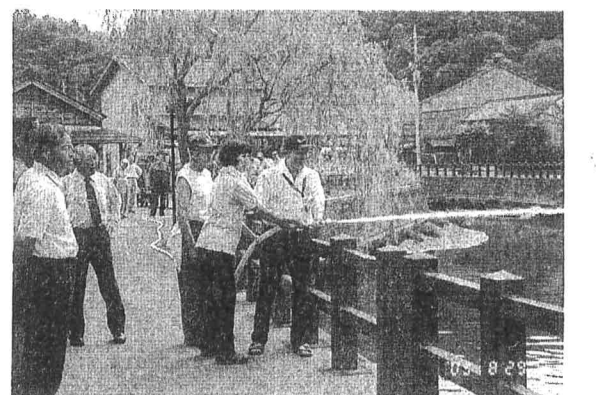
観光は保存のために活用する

以上のようなお話の後、参加者からいろいろな意見・質問が出され、盛会のうちに終了しました。

重伝建地区消火栓使用訓練

市による伝統的建造物群保存地区の防災事業として、地域の方にも使用可能な消火栓が、小野川沿いの忠敬橋から上流部分に設置されました。

八月二十九日、その完成した消火栓を使用し、伝建地区の住民の方々等の参加のもと放水訓練を行いました。佐原消防署防課の職員の説明を受け、三人一組で消火栓の入った箱からホースを取り出し、現場まで運び消火栓を開け放水しました。最初は不安でしたが、水圧も初めての人も出来るようなもので、皆さん楽しみながら参加されました。



いました。これを使用するよな事があったてはいけないと思います。万が一の為に、定期的にこういう訓練をした方がよいと思えました。

小野川清掃実施

七月十五日に行なう予定だった小野川清掃でしたが、小野川が増水の為、残念ながら中止となってしまいました。

役員で相談した結果、都合のつく人だけで実施しようという事で、八月三日(日)五名の参加で行ないました。忠敬橋から正上前までの短い距離でしたが、重い石等が多いため、年々きれいにはなっていない感じがしますが、今後も小野川をきれいにするために皆様方の一層のご協力をお願いします。



会員募集中
 私たちの町は皆さんの活動で！
 楽しく町づくりに参加しませんか。お待ちしております。広く会員を募集します。
 ○会費 月1,000円
 ○連絡先
 小野川と佐原の町並みを考える会
 事務局 佐藤健太良 TEL(52)2408